

# ぼれぼれ通信



防衛副大臣離任  
一年二か月を振り返る

11・12月号  
**vol.43**

## 緊急参集 一分一秒を争う

昨年八月、山本は、皇居、宮中に参内し、今上陛下から防衛副大臣の官記を拝受し、その認証を受け、防衛省・自衛隊での24時間365日の職責にあたることになった。防衛省の内局職員や自衛隊の自衛官は、

交代制で任にあたるが、防衛要員がいないため、まさしく24時間365日ひたすら仕事をするという激務であった。副大臣は一人しかおらず、交代

また、今年は、福井県豪雪災害に始まり、大阪北部地震、西日本豪雨災害、北海道胆振東部地震などなど本当に自然災害の多い年でもあった。大規模な災害が発生した場合も官邸や本省への緊急参集が実施されるのだ。そのような時の多くの場合は、緊急に



# 24時間365日は 文字通りの激務

行し、日本の安全は、より重大かつ差し迫った新たな段階だ。実際、山本が着任してからも北朝鮮による1回の核実験と3回の弾道ミサイルの発射という暴挙が行われ、その都度、総理官邸や防衛省への緊急参集が実施された。山本も早朝に叩き起こされ、歯も磨かずに急いで着替えだけを済ませて自宅や宿泊先から飛び出した、という場面も何度かあった。

官邸で非常災害対策本部会議などが開催される。このようないシーンは報道もなされるので、ご存知の読者もおられるだろう。実は、それに合わせて防衛省でも同様の災害対策本部会議を行っている。仮に防衛大臣が国内外への出張で東京にいない場合は、大臣に成り代わって副大臣の山本が官邸の会議に出席し、本省での会議もトップになり事態の解決に当たらなくてはいけないのだ。そして、山本に実際そのような場面が何度も訪れた。防衛省・自衛隊25万人の指揮を執らなくてはいけないという重圧と闘いながら、山本は被災者の一刻一秒を争う救難救助、被災地の迅速な復旧と確実な復興という重要な仕事に邁進していた。

## 地球5周を 超えた移動距離



▲南スーダンのキール大統領と会談

出張や視察先などは、国内外に訪問先は枚挙にいとまがないが、山本人が、先ず希望したのは最前線で活動している隊員の様子を知り、かつ激励したいということであつた。その結果、国内で最初に希望した訪問先は、南西部隊の最先端である沖縄県与那国島、国外では、海で活動している隊員達への激励から始まり、二国間交渉や国際会議への出席など多岐に渡る役務を果たし、気が付けば、それらの総移動距離は、20万キロ以上に達し、地球5周を超えていた。今は、PKO（国連平和維持活動）など世界平和に貢献することも自衛隊に求められている。例えばARDEC（アフリカ施設部隊早期展開プロジェクト）に見られる、ような他のPKO参加国の中の運転・操縦方法などを教

育するなど、さまざまな任務のため、  
ざまな任務のため、  
に、南スーザン、ケニア、ジブチ共和国  
でも自衛隊が活動してい  
る（山本が副大臣任期中）。そし  
て、山本は、それら全ての国を訪問し、現地の隊員を激励するのもと、より、その活動状況や生活環境を実際にその目で確かめてきた。

## 防衛分野に求められる外交力

前述の通り、山本自身も世界を飛び周り、防衛協力や装備品移転協定などの2国間交渉や安全保障関係の国際会議に出席するなど積極的な

洋州、中東、アフリカ地域から北米、欧州、アジア、大洋州、中東、アフリカ地域から北米、欧州、アジア、大

陸、世界中から日本を訪ねて来られる方々との外交を展開した一方で、世界中から日本を訪ねて来られる方々との外交を交渉も数多くあつた。山本が対応したのは、同盟国である米国は勿論のこと、論のこと、翼を担つていたのである。

「防衛協力・交流覚書」とは、「国間の防衛協力交流の基本的な方向性について認識を共有し、それらを促進するものである。このようないくつかの防衛省においても外交が展開されており、山本も防衛副大臣としてのその役を担つていただいている」ことであつた。「防衛協力・交流覚書」とは、「国間の防衛協力交流の基本的な方向性について認識を共有し、それらを促進するものである。このようないくつかの防衛省においても外交が展開されており、山本も防衛副大臣としてのその役を担つていただいている」ことであつた。



▲海外出張経路図

に署名したのは、山本が初めてのことであつた。「防衛協力・交流覚書」とは、「国間の防衛協力交流の基本的な方向性について認識を共有し、それらを促進するものである。このようないくつかの防衛省においても外交が展開されており、山本も防衛副大臣としてのその役を担つていただいている」ことであつた。「防衛協力・交流覚書」とは、「国間の防衛協力交流の基本的な方向性について認識を共有し、それらを促進するものである。このようないくつかの防衛省においても外交が展開されており、山本も防衛副大臣としてのその役を担つていただいている」ことであつた。

に署名したのは、山本が初めてのことであつた。「防衛協力・交流覚書」とは、「国間の防衛協力交流の基本的な方向性について認識を共有し、それらを促進するものである。このようないくつかの防衛省においても外交が展開されており、山本も防衛副大臣としてのその役を担つていただいている」ことであつた。

# 自民党が公認を決定! 2019統一地方選・横浜市栄区

県



県議会議員選挙

## つのだ宏子

### プロフィール

昭和42(1967)年4月生まれ  
横浜市立犬山小学校(現・上郷小学校)卒業  
横浜市立上郷中学校卒業  
法政大学女子高等学校(現・法政大学国際高等学校)卒業  
法政大学法学部政治学科 卒業  
有限会社ツノダ 代表取締役  
現代美術を中心とした展覧会の企画・販売  
高齢者福祉まごころの会を設立  
平成15年  
横浜市会議員初当選(2期連続当選)  
平成21年  
参議院神奈川県補欠選挙(自民党公認)立候補  
約79万票を獲得するも惜敗  
現在  
自由民主党横浜市栄区連合支部 支部長  
公益社団法人 横浜市防火防災協会 理事  
栄火災予防協会 会長

市



市議会議員選挙

## 大桑まさたか

### プロフィール

昭和48(1973)年7月4日生まれ  
小菅ヶ谷幼稚園卒園  
横浜市立小山台小学校入学  
※小学校5年次に父親の転勤で大分市に転校し、高校1年父親の転勤で横浜市に戻る  
大分市立大道小学校卒業  
大分市立王子中学校卒業  
大分県立大分舞鶴高校入学  
神奈川県立大岡高校卒業  
神奈川大学卒業  
アシスト株式会社入社  
平成15年4月 横浜市会議員 初当選  
平成19年4月 横浜市会議員 2期目当選  
平成21年4月 明治大学専門職大学院修了  
平成23年4月 横浜市会議員 3期目当選  
平成27年4月 横浜市会議員 4期目当選  
平成30年8月 自民党横浜市会議員団入党  
現在  
横浜市会議員4期目  
国際・経済・港湾委員会所属



駅で「ぱれぼれ通信」を  
お配りしております

# 駅頭活動報告

「久し振りだね」  
「長い間、副大臣、お疲れ様でした」  
「次は、どうなるの？」などなど、沢山の方々に  
声を掛けて頂き、感謝、感謝です。  
今回の内閣改造で防衛副大臣を卒業し、  
次に与えられた国防部会長として  
しっかりと職責を果たします

朝の6:30~8:30までの2時間にわたり、4区内の  
下表の駅で活動をさせていただいております。

※雨の日は靴と傘をお持ちの皆様が多いので、駅頭活動を控えています。



### 前回の「ぱれぼれ通信」配布数

9月・10月集計分

駅名	9月	枚数	10月	枚数	前月比
逗子駅	11日(火)	203	15日(月)	392	↑
新逗子駅	※10月4日(木)	348	16日(火)	389	↑
鎌倉駅(東口)	13日(木)	192	5日(金)	429	↑
鎌倉駅(西口)	12日(水)	178	9日(火)	452	↑
大船駅(西口)	28日(金)	285	10日(水)	510	↑
大船駅(モノレール口)	19日(水)	235	12日(金)	448	↑
大船駅(東口)	※10月2日(火)	401	22日(月)	455	↑
大船駅(笠間口)	18日(火)	205	11日(木)	565	↑
本郷台駅	20日(木)	175	17日(水)	228	↑
港南台駅	※10月3日(水)	269	18日(木)	255	➡
9月配布合計		2,491	10月配布合計	4,073	↑

※雨天のため配布日が10月にずれ込みました。

アドレスは「ぱれぼれ」

twitter, Facebookも本人がやっています  
皆様からのご質問やご意見、お待ちしております。



twitter  
@ty\_polepole

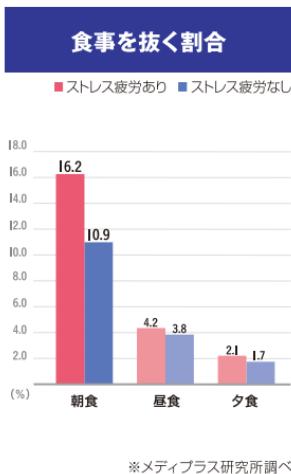


facebook.

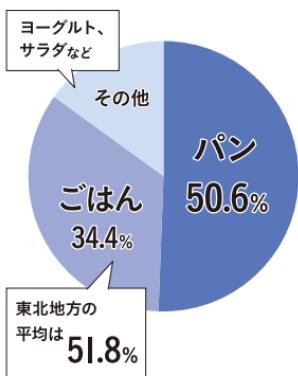
facebook.com/ty.polepole

# 「朝食」に見る食とストレスの関係

山本らが進める「ストレスオフ政策研究会」などが連携し、日々ストレスにまつわるデータの調査を進めている。今回は少し趣向を変え、朝食とストレスの関係について検証した。



朝食の主食  
全国平均データ(複数回答)



## 朝食を抜く割合

■ストレス疲劳あり ■ストレス疲劳なし



※メディプラス研究所調べ

皆さん毎日朝食をとっているだろうか？山本は朝からしっかり食べる派で、定期的に朝食をとりながらの勉強会も開催している。

トッピング

はさすが

51.8%

う。

3食

う。

朝

う。

# 山本ともひろプロフィール

## 経歴

- 関西大学 商学部 卒業
- 京都大学 大学院 修士課程(法学)修了
- (財)松下政経塾 卒塾 (21期)
- 米国ジョージタウン大学 客員研究員、その後、会社員を経て
- 平成17年 衆院選 初当選
- 平成26年 文部科学大臣政務官・復興大臣政務官 就任
- 平成27年 オリンピック・パラリンピック大臣政務官 就任
- 平成29年 防衛副大臣・内閣府副大臣 就任
- 平成29年 衆院選 4期目の当選
- 平成30年 自民党 国防部会長 就任

**自由民主党  
衆議院議員(4期 10年)**

神奈川4区(栄区・鎌倉市・逗子市・葉山町)  
昭和50年(1975年)生まれ  
43歳 鎌倉在住



分かりやすいと大人気!

## 国会見学案内実施中!!

国会を山本ともひろと一緒に見学してみませんか?

「政治が身近に感じられた」「分かりやすく楽しかった!」と大好評。ご案内は無料で行っていますので、詳細は下記事務所にお気軽にお問合せ下さい。



## ぼれぼれ通信って何?



「ぼれぼれ」は、ケニアの公用語のスワヒリ語で「ゆっくり、ゆっくり」という意。私は、ケニア・タンザニア米国大使館同時爆破テロの現場(ケニア)に居合わせたのがきっかけで政治家を志しました。

一度に全てを変えることは無理でも、諦めず、ゆっくりでも少しづつでも政治を変えていきたい。そうしなければこの国は良くならない…。そしてその活動を皆様にお伝えしていきたいという想いを込めて、この冊子を作っています。



## 山本ともひろ事務所リスト

### 本部事務所

神奈川県鎌倉市大船1-6-6 大久保ビル3F

TEL:0467-39-6933 FAX:0467-39-6943

### 国会事務所

東京都千代田区永田町2-1-2 第2議員会館 1110号室

TEL:03-3508-7193 FAX:03-3508-3623

平成30年(2018年) 11月1日発行 第43号

【編集・発行】山本ともひろ後援会(ぼれぼれ通信制作委員会 鎌倉市大船1-6-6 3F TEL 0467-39-6933 FAX 0467-39-6943)  
※本誌は、隔月(1、3、5、7、9、11月)発行の機関誌です。バックナンバーについては上記事務所までご連絡ください。またHPにも掲載しておりますのでご覧ください。